

## 【議事要旨】

会 議 名	令和7年度第1回港区指定管理者選定委員会
開 催 日 時	令和7年5月8日（木）午前9時40分から午前10時まで
開 催 場 所	庁議室
委 員	<p>■出席者</p> <p>（委員長）野上デジタル・区役所改革担当部長  （副委員長）荒川企画経営部長、湯川総務部長  （委員）相川企画課長、星川区役所改革担当課長、江村財政課長、  山越総務課長、大浦契約管財課長  （説明員）上野福祉施設整備担当課長、宮本障害者福祉課長</p>
事 務 局	企画経営部企画課
会 議 次 第	<p>審議事項</p> <p>（1）指定管理者の選定について  ・グループホーム高浜 【資料1】</p>
配布資料 (本施設に係るもの)	<p>資料1 指定管理者候補者選定調書</p> <p>資料1-2 指定管理者候補者選考委員会報告書</p> <p>資料1-3 選考委員会採点表</p> <p>資料1-4 選考委員会議事録</p> <p>資料1-5 指定管理者指定申請書（他、添付書類等）</p> <p>資料1-6 応募者（第二次審査対象事業者）の提案内容比較表</p>
会議の結果及び主要な意見（本施設に係るもの）	
上野課長	<p>（1）指定管理者の選定について  ・グループホーム高浜</p> <p>（資料について説明）</p>
星川課長	590点で一次落選となった事業者について、議事録を確認すると、当落の基準が点数のみのように見受けられるが、当落の判断において、どのような経緯があったか教えてほしい。
上野課長	当落の判断として、まずは大前提としての当選基準である6割に満たなかったこと、そのうえで、通過順位が2位の事業者とも100点以上の差がついているということも踏まえて総合的な判断として落選となった。
星川課長	選考事業者の資金計画についてだが、議事録を確認すると、理事長自身の個人資産で遣り繰りしているというところもある。今後、10年間という長期の指定期間になるが、所管課として財務状況をどのように判断するのか。

上野課長	<p>分析を担当とした公認会計士からは3期連続で債務超過となっている現状については懸念が示されている。他方で、借入金外部からではなく法人の親族からであることを踏まえると資金繰りが急激に悪化するリスクは低いとのことであった。当然、今後審査を進めていく中では、財務状況については考慮した方がいいとのアドバイスを受けた。</p> <p>所管課としては、借入金の主な内容が工事費であること、令和3年度から令和5年度に一定の利益が出ており今後返済の見込みがあることなどを総合的に判断し、財務的な点は問題ないという判断をした。</p>
星川課長	<p>議事録を確認すると理事長の影響力が強いと思うが、事業者内における技術の継承などの課題はどのように捉えているか。</p>
上野課長	<p>今回の選定の過程においては、施設長以外の職員がプレゼンに臨む姿なども評価されている。施設長に何かがあった時の不安という意見はあったことは事実なので、債務超過の状況等もあることから、指定管理者として選定された暁には、所管課としても注意深く観察していきながら、施設が安定的に運用されるように対応していく。</p>
大浦課長	<p>職員配置表について、常勤・非常勤としての見方などを確認させてほしい。</p>
上野課長	<p>既に港区内でグループホームを運営しており、その施設とグループホーム高浜を法人の職員がローテーションで回りながら施設を運営するという事になっているため、このような表記となっている。</p>
大浦課長	<p>法人での身分は常勤ということか。</p>
上野課長	<p>法人では常勤ではあるが、グループホーム高浜では、週に3日程度の勤務となることから、職員配置表としては、非常勤として取り扱っている。</p>
相川課長	<p>グループホーム高浜には、毎日何名程度の職員が従事しているのか。</p>
上野課長	<p>入居者が起床し、施設から送り出すまでは2名体制、入居者が帰ってきてから就寝するまでは3名体制の予定である。</p>
荒川部長	<p>既に港区に開設している施設については、港区と関係性がある施設なのか。</p>
上野課長	<p>民設民営の施設であり、区としては、運営補助金を拠出している。</p>
荒川部長	<p>定員が6名である中で、夜間体制は1名体制で問題ないのか。</p>
上野課長	<p>中程度の知的障害者をお持ちの方が入る施設なのでこの体制で問題ないと判断している。他方で、事業者からは、既に区内で運営している施設は2名体制となっていることから、大きなトラブルがあれば当該施設からグループホーム高浜に応援体制をとるとの提案を受けている。</p>
山越課長	<p>人員配置の点で、安定して運営ができるのかという観点において、職員配置表の人員体制に関する質疑、特に増員等に関する議論はあったか。</p>
上野課長	<p>質疑の中で、増員に関する議論はなかったが、当該法人での勤務を希望している方もいると聞いており、配置表通りの配置されるものと受け止めている。指定管理者として選定された暁には、職員配置など、個別具体的な話を進めていきたいと考えている。</p>

野上部長	人件費を比較すると、選定事業者はA事業者に比べて1000万円近く低い。人件費としては安いのではないかと思うのだが、選定事業者の提案金額の妥当性については施設間での水準差なども含めて、施設所管課としてどのようにとらえているのか。また、選考委員会において人件費に関する議論はされているのか。
上野課長	人件費の金額の妥当性について、選考委員会で個別で議論はされていないが、A事業者は本社が東京にはなく、バックアップ体制が取れないことから、人員確保に係る金額が多めに見込まれていると考えており、公認会計士からも特に指摘はないことから、問題はないと判断した。当然提案金額内で実施できるという前提でとらえているので、その金額を基準に詳細を詰めていきたいと思う。
湯川部長	長期欠員の場合に候補事業者と連携しているクリニックがバックアップに入ると記載されているが、具体的にどのようなバックアップがされるのか。
宮本課長	この記載については、提携している医療機関があることから、利用者に何かがあった時にそこがバックアップになれるという提案だと受け止めている。
湯川部長	長期欠員の場合という記載とクリニックのバックアップが連関してこないので内容は改めて確認してほしい。
宮本課長	承知した。
湯川部長	職員配置表だけでは勤務体制が確認できないが所管課として実際の勤務ローテーションを確認しているのか。
上野課長	本委員会の資料としては提出していないが確認はできている。
湯川部長	誤解を生む可能性があるので勤務体制表も見せるべきでは。
星川課長	本委員会でも確認できるように、配置表と勤務表をセットに提示したいと思う。
野上委員長 (全員)	他になければ、本件については了承でよろしいか。 異議なし。